

# 広報・財務専門委員会

## 1 27年度の実績

新しい全日本アド連体制でホームページ（HP）をリニューアルした。HPで全日本アド連の沿革、趣旨、会則、役員名、総会・理事会の議事録、アド養成講習会要項、アドたより8、9、10号等載せてきた。また、アド養成講習会の様子をユーチューブに載せた。各県の活動内容も載せるように努めた（宮城県のアド講習会要項と成果）。

反省としては、

- ①アドたよりはHPだけではなく、紙面で作って配布してほしい。
- ②HPに多くの各県活動状況の報告を期待したが宮城県のみと低調であった。
- ③ユーチューブの動画が34回と視聴が少なかった。

今後はもっと視聴と投稿をPRしていく。

投稿受付事務局 事務局次長 近藤 修(愛媛県)連絡先Eメール osamu5515@yahoo.co.jp

HP掲載担当者 事務局次長 香川 勝(香川県)連絡先Eメール kagawa@ayauta.net

質問：参加者で全日本アド連のHPを見た人、見た人の感想は？

## 2 28年度取組み

### (1) アドバイザーたよりの編集体制の充実

・編集 全日本アド連事務局

- ①各県一人通信員を指定し随時活動や全日本アド連の求めに応じた記事をメールで報告
- ②全日本アド連役員及び専門委員会委員長が編集方針に沿った必要な記事をメールで報告
- ①+②を全日本アド連事務局集約で編集し会長決済をとって発行する。HPに載せる

例

号	記事内容	発行日	写真	担当
11	会長挨拶 総会の全体内容 表彰者紹介 総会の議事内容 専門委員会の内容 研究集会の内容 各ブロック・都道府県アド連の事業の報告 国や都道府県民会議連合会の動き その他 編集後記	8月末	あり あり あり あり あり あり あり	会長 編集担当 編集担当 主管県 主管県 主管県 担当通信員 会長 編集担当
12	アド養成講習会の参加呼び掛け 講習会の内容・主な講師の紹介 各県アド連調査アンケートの結果 新人アドの活動紹介 各ブロック・都道府県アド連の事業の報告	12月 始め	あり あり あり あり	後継者委員長 後継者委員長 基本問委員長 事務局 担当通信員

	国や都道府県民会議連合会の動き その他 編集後記			
13	アド養成講習会特集 新人アドの活動紹介 各ブロック・都道府県アド連の事業の報告 国や都道府県民会議連合会の動き その他 編集後記	3月末	あり あり	後継者委員長

※ 提出された原稿は紙面の関係で文意に沿って若干の削除がある場合があります。

(2) 全日本ホームページの充実と活用

昨年と同じように取り組む。特に多くの方が視聴するようPRする

(3) アドバイザーバッジの作成



会員に自覚と誇りを持って活動していただくために、従来の純銀バッジは在庫がなくなったので新たにつくる。新しく養成したアドバイザーは必携。500個つくると1個1,800円かかるので、各県で希望個数をまとめる。

予算 500個×1,800円=900,000円

販売 各県既アド 250個=450,000円

今後の新人アド認定者250個=450,000円

財源をどうするか 寄付金1万円以上×45人=450,000円又は借金,それとも?

(4) ロゴマーク入り名刺を作る

HP上に統一した台紙を貼り付けて、アド連幹部や会員に使ってもらう



(5) のぼり旗をつくる

どのようなスローガンの内容のものか（下記の幟参照）

例 ありがとう100回運動 伸びよう伸ばそう青少年 大人が変われば子どもも変わる 地域の子は地域で育てよう 子どものチャンスを活かそう 等

一旗3,000円×本数

(6) ありがとう運動の缶バッジ



自覚と啓発活動を推進するツールとして作成する

各県に募集する1個50円×個数（ただし1,000個以上作りたい）

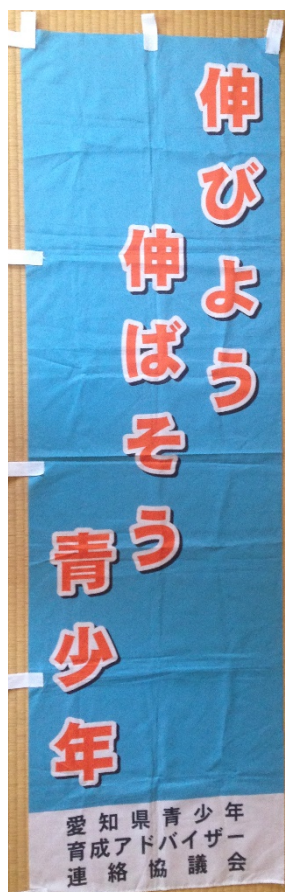
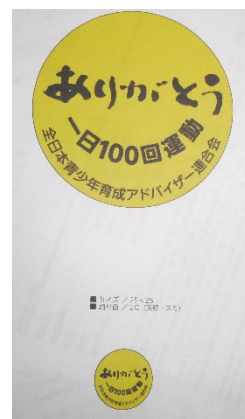
サイズ30ミリ、胸につける等。

(7) シールの活用

サイズ90ミリ(大) 2色 自動車又は玄関等目につくところ  
サイズ25ミリ(小) 2色 携帯、ノート、ファイル等に貼る

(大)

(小)



(8) 情報モラル普及啓発の取組

アドバイザーの活動として子どものネットからの影響は大きく啓発紙芝居を用意し、保護者や子ども達に正しい使い方について要請があれば全国に訪問する。

(9) 全日本青少年育成アドバイザー連合会のNPO法人化の検討について

平成28年度運動方針(案)及び事業計画(案)により、広報・財務専門委員会は、『認知度が低いと云われるアド連の運動(活動・事業)資金をどのように確保するか。』特にNPO法人化について、各ブロック・各県の積極的な意思を集約して、その是非を決定する。』ことについて検討する。

◎ 法人化のメリットについては、以下のとおりです。

1) NPO法人の存在意義について

①「新たな起業家」の苗床、②「新しい公共」の担い手、③「市民の社会参加の促進」、④「雇用の創出」等があります。

2) NPO法人が評価を活用する目的と意義について

- ①組織体制や活動、事業がNPO法人の設立目的や理念を確認できる。
- ②実施する事業や組織の改善を促すことができる。
- ③会員や支援者、社会一般へのアカウントビリティ(説明責任)を行うことができる。
- ④コミュニケーションツールとして活用することができる。
- ⑤意図していなかった成果の確認や気が付かなかった点の発見等ができる。

3) 法人格を持つということについて

「銀行での口座を開設」や「事務所を借り」等の法律行為を行うことができ、国、県、市の各種「公共事業への競争入札へ参加」することができます。これらの団体が法人格を取得することによって、このような不利益・不都合を解消し、本会の活動の健全な発展を促進し、もって公益の増進に寄与することを目的とする。」ことが可能となることと思います。

◎ 懸念されることについては、以下のとおりです。

1) 申請に時間かかる

- ・多くの団体が所属しているので、全体を取りまとめる為に時間が必要

- アド連の組織として、実際に活動できる人材・事業を育てることが重要
  - アド連の財政事情や活動事情等を理解されている会員の賛同が必要
- 2) ワーキンググループ（NPOの人的支援・協働事業の企画立案）の設立が必要
- 3) 組織維持のための人的要因の確保
- 社労士や税理士・会計士などの協力が必要
  - 国、県、市等で社会福祉又は青少年育成関連部署の経験者が必要
  - NPO職員（専従職員）が必要
- 4) 全日本アド連が NPO 法人となると加盟県は例として NPO 法人全日本アド連〇〇県支部と名乗ることになる。

## 申込書等の様式

団体名 \_\_\_\_\_

責任者 \_\_\_\_\_

連絡先 \_\_\_\_\_

広報通信員氏名		連絡先（メールアドレス）	
物 品	口数	1 単価	金 額
アドバイザーバッジ		1800円	
ありがとう缶バッジ		50円	
のぼり旗		3000円（送料込み）	
シール（大）		100円	
シール（小）		5枚組で1シート10円	

広報通信員は7月末日 物品は 8月末日までに報告をお願いいたします。